本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

MAP METER
693

693

このたびは、当社製品をお買いあげくださいましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取り扱いくださいますようお願い申しあげます。
なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。
時計のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。
※本機は計量法に基づく計測器ではありません。

ご使用上の注意

防　水　性
- ●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。
- ●20気圧（200M相当、表または裏に20BARまたは200Mと表示）および30気圧（300M相当、表または裏に30BARまたは300Mと表示）防水の場合。水仕事や水泳・水上スキー・スキンダイビング・スキューバダイビング（アクアラング）などで使用できます。
- ●10気圧防水（100M相当）〈表または裏に10BARまたは100Mと表示〉の場合。水仕事や水泳・水上スキー・スキンダイビングなどにお使いいただけますが、専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。
- ●5気圧防水（50M相当）〈表または裏に5BARまたは50Mと表示〉の場合。水仕事、水泳などでご使用になる水準です。スキンダイビング、高とび込み、ウインドサーフィンなどでのご使用はお避けください。
- ●BARまたはM表示のないもの。洗顔や雨などの日常の使用に耐える構造になっていますが、水泳・入浴・洗車時などでのご使用はお避けください。
- ●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- ●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- ●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
- ●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。このとき、計測ローラーのギヤシャフト防水リングの交換をおすすめします。
- ●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付きの状態で、水仕事・水泳など直接水がかかるご使用はお避けください。

防　塵　性
- ●一般的な防塵性は備えておりますが、計測ローラーにほこりや砂、毛等が入り込みますと故障の原因となりますので、そのような所では計測しないでください。
万一、入り込んで計測中に異音がするようなときは、当社サービスセンターに修理をお申しつけください。

バンド
- ●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

お手入れ
- ●ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。
- ●汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。

温　度
- ●直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
- ●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック
- ●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。
特に、計測ローラーを出した状態で落としたり、強くぶつけますと、計測ローラーを破損したり、計測機能に障害がおこることがありますので、ご注意ください。計測終了後は計測ローラーを回して収納状態にしてください。

磁　気
- ●磁気の影響はありません。

薬　品　類
- ●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

保　管
- ●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。

電池交換について

最初の電池
- ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
  - ※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
  - ※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消　耗
- ●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- ●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換
- ●電池交換は必ずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。
- ●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

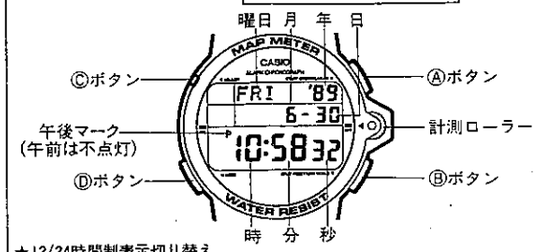
保証・アフターサービスについて

- ●この製品の修理部品の保有年数は7年を基準としています。ご使用条件にもよりますが修理可能期間はほぼこれに準じます。
- ●本製品に対するご質問、お問い合わせや、「転居」「贈答」などでお買上げ店での修理調整が受けられない場合がありましたら、お近くのカシオサービスセンターへご連絡ください。
  - ※修理のとき、一部代替品を使わせていただくこともありますのでご了承ください。
- ●特別注文された商品の修理ではケース・ガラス・バンド等の変更部分にカシオ純正部品を使用させていただくことがあります。
  - ※万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

操作のしくみと表示の見方

Ⓓボタンを押すごとに以下の順でモードが切り替わります。（押すごとに確認音が鳴ります）
※詳しくは各機能の項目をご覧ください。
※マップモード以外でその機能を使用した後、Ⓓボタンを押すと直接時刻・カレンダーモードに戻ります。

時刻・カレンダーモード

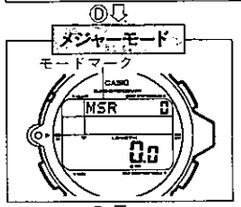


（曜日の見方）

SUN	日
MON	月
TUE	火
WED	水
THU	木
FRI	金
SAT	土

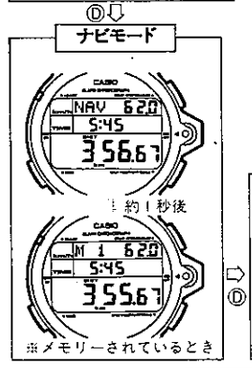
★12/24時間制表示切り替え
Ⓑボタンを押すごとに12時間制表示（午前／午後"P"）と24時間制表示（24）とが切り替わります。

メジャーモード



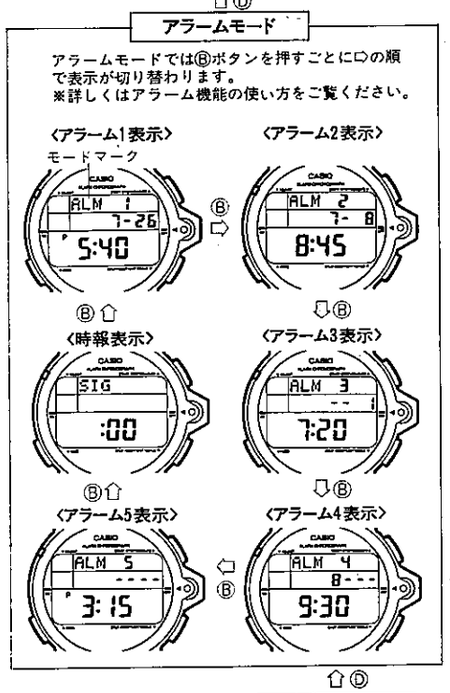
マップモード

ナビモード

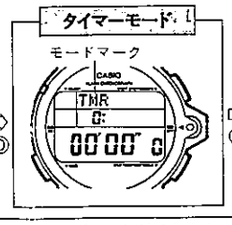


アラームモード

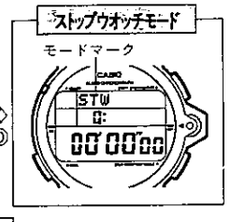
アラームモードではⒷボタンを押すごとに⇨の順で表示が切り替わります。
※詳しくはアラーム機能の使い方をご覧ください。



タイマーモード



ストップウオッチモード



メジャー・マップ・ナビモードでは以下のことができます
- ●外出先などでの実際の距離をはかる（メジャー機能）
- ●曲線をはかる（メジャー機能）
- ●地図上をはかって実際の距離を知る（マップ機能）
- ●実際の距離により時速/所要時間を計算して旅行などのプランをたてる（ナビ機能）
- ●実際に走行してタイマーにより予定と比べる（ナビ機能）

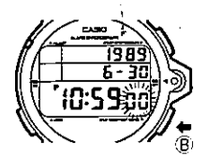
秒の合わせ方（±30秒以内の遅れ進みの修正）

月に一度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

(1)時刻・カレンダーモードのときに、Ⓒボタンを押して時刻セットモードにします。



(2)時報に合わせて、Ⓑボタンを押すと「秒」が点滅しながら00からスタートします。



秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

(3)Ⓒボタンを押すと時刻・カレンダーモードに戻ります。



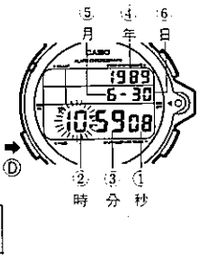
時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以以下の方法で合わせてください。

(1)時刻・カレンダーモードでⒸボタンを押して時刻セットモードにします。

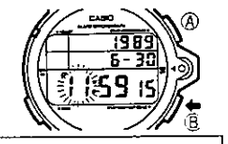


(2)Ⓓボタンを押します。
※セットモードのとき、Ⓓボタンを押ごとに点滅個所が以下の順で移動します。
点滅個所がセット可能ですので、Ⓓボタンでセットしたい個所を選びます。



※年は西暦で、1985～2029年までセットできます。
※曜日は年・月・日を合わせれば自動的にセットされます。

(3)点滅個所がⒷボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓐボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
※Ⓑ・Ⓐボタンとも押し続けると早送りができます。



Ⓓボタンでセットしたい個所を選び、ⒷボタンまたはⒶボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。
注）「時」のセットのとき午前（不点灯）／午後（P）、24時間制（24）にご注意ください。

(4)セットが終わったら（どの個所が点滅していても）、Ⓒボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。



- ●カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。
- ●時刻セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に時刻・カレンダー表示に戻ります。

メジャー機能の使い方…操作のしくみにしたがいⒹボタンを押してメジャーモードにします。

メジャー機能は計測ローラーで測った実測値を表示します。表示単位はミリメートル、センチメートル、メートル、インチ、フィートであらわすことができます。

■計測前の準備

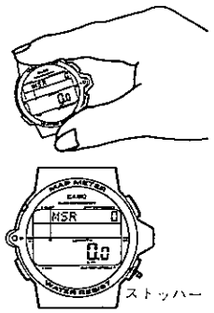
●計測ローラーのセット

計測ローラーは、**使わないときは収納部におさめ**、使うときはベゼルを（カチッと音がするまで）回転させて、計測ローラーをセットします。



〈計測ローラーおよび回転ベゼルのご注意〉

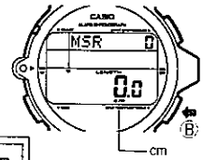
回転ベゼルを回して計測ローラーをセット・リセットするときは、計測ローラーを持って回さないようにしてください。回す際に計測ローラーに無理な力が加わりますとローラーを破損するおそれがあります。また、計測ローラーをセットしてもローラーが回らないときは、歯車のかみ合わせが悪いので、一度ベゼルを回転させて計測ローラーをリセットし、もう一度セットし直してください。また、回転ベゼル右下にセット用のストッパーがありますので、ここを押すと回りづらくなりますので注意してください。

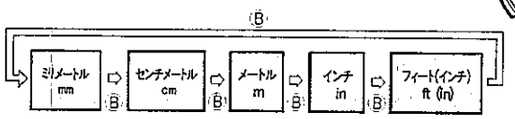


●表示単位のセット

計測前に（計測後でも可）表示単位をセットします。

メジャーモードでⒷボタンを押すごとに表示単位が以下の順でかわります。





※計測後に表示単位を切り替えますと、他の単位に換算して表示します。

●計測方向のセット

計測方向とは計測時にローラーを転がす方向で、時計の表示窓に向かって下方向に転がすときを＋(プラス)とするか、上方向に転がすときを＋にするかをセットします。

メジャーモードでⒶボタンを押し続けると、方向を示す三角マークが点滅しながらピッと鳴り、上下が反転します。

使いやすい方向を選んでセットしてください。



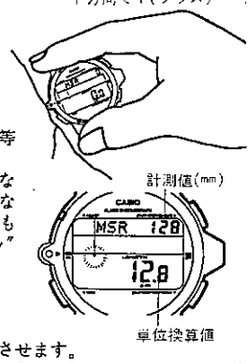
■計測の仕方

計測はⒶボタンを１回押すことにより開始します。

※方向を示す三角マークが点滅します。

回転ベゼルを図のように指で押さえ、計測したい地図等の上をなぞります。

注）方向を示す三角マークが点滅していても計測できないときは、計測ローラーが正しくセットされていないことがありますので、ベゼルを回して確認し、もし正しくセットされていないときはベゼルを"カチッ"と音がするまで回転させてください。



計測終了後は再びⒶボタンを１回押して計測をストップさせます。

※計測状態のままでは、計測ローラーに触れると距離がかわってしまいますので、必ずストップさせてください。

また、計測を続けないときはベゼルを回してローラーを収納してください。

※計測値が－(マイナス)で表示されるときは計測方向が逆になっていますので、Ⓐボタンを押し続けて、計測方向を逆にしてください。(三角マークの向きも逆になります。)

※計測は計測値で－9999～＋9999(mm)までで き、その後は０から繰り返し計測します。

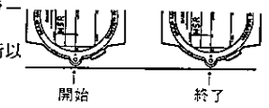
・計測状態のまま放置しますと、2～3分後自動的に計測状態が解除されます。

・計測中にアラームやタイマーの電子ブザーが鳴りますと、計測を自動的にストップしますので、Ⓒボタンでリセット後、再びⒶボタンを押して計測をはじめからやり直してください。

・計測は誤差をなるべく少なくするために、計測ローラーの開始した個所と同一個所で終了してください。

★単位換算値は計測値をもとにして、表示単位の表示桁以下を切り捨てて表示します。

例：123㎜＝0.123ｍ→0.12(表示値)

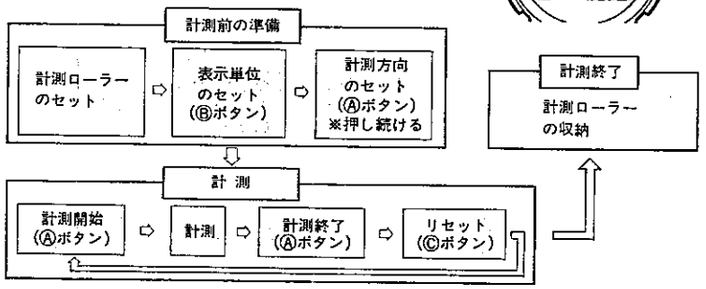


●計測のリセット(表示を０に戻す)

新たな計測を開始するとき等で計測値をリセット（０に戻す）ときは、計測状態にかかわらずⒸボタンを押すと計測値が０になります。



★計測の手順



計測上のご注意

・計測スピードはゆっくりと行ない(10㎝／秒以内)、計測ローラーに急激な回転を与えないようにしてください。急速な計測は、ローラーがすべり正確に計測できないばかりでなく、摩擦による発熱・防水不良・測定精度不良が発生する原因となります。

・計測する地図等は普通紙(上質紙)が良く、表面にコーティングしてあるもの等はすべりにより正確に計測できないことがあります。すべりやすい紙質のときは、特にゆっくりと計測してください。

・計測ローラーを強く紙に押し当てますと、紙が切れることがありますのでご注意ください。

※傷がついたり、切れたりしてこまる物（家具等）は計測しないでください。

・ほこりや砂、毛（布）等の多いものでは計測しないでください。計測ローラーに入り込み，故障の原因となります。

※異物が入り込み、計測中に異音が発生する時などは、最寄りのサービスセンターに修理をお申し付けください。

マップ機能の使い方…操作のしくみにしたがいⒹボタンを押してマップモードにします。

マップ機能は地図上の道路等を計測ローラーで測ることにより、縮尺に合わせて自動的に実際の距離を計算する便利な機能です。

縮尺はよく使うスケール（縮寸）を５つ([１]～[５])まであらかじめセットすることができますので、使うときにワンタッチで呼び出して計測できます。

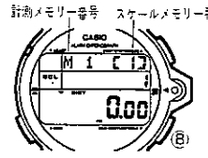
※マップ機能を使う際の準備（計測ローラーのセット、計測方向のセット）および計測の仕方、計測上のご注意についてはメジャー機能と同じですので、マップ機能をお使いになる前にメジャー機能の使い方をご覧ください。

■計測前の準備…スケール（縮寸）のセット

スケールメモリーには工場出荷時にあらかじめスケールがセットされていますが、以下の操作により任意にセットし直すことができます。セット方法は２通りありますので、使い易い方でセットしてください。

●ダイレクトセット

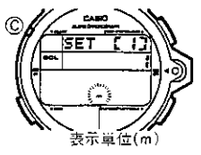
スケールのダイレクトセットは「100万分の1(1：1000000)」とか「25万分の1(1：250000)」のように、スケールがわかっている場合のセット方法です。



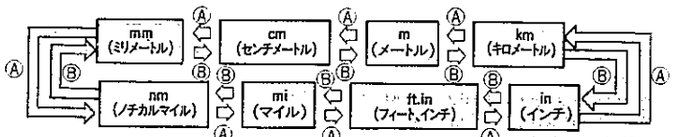
(1)マップボードでⒷボタンを押して、セットしたいスケールメモリー番号（[１]～[５]のいずれか）を表示させます。

※計測メモリーについては「計測メモリーの使い方」をご覧ください。

(2)Ⓒボタンを押すと、表示窓下部で表示単位が点滅します。



(3)このときⒶボタンまたはⒷボタンを押すごとに以下の順で表示単位が切り替わります。



ⒷボタンまたはⒶボタンを押して、セットしたい単位を表示させます。

(4)表示単位のセットが終わりましたらⒹボタンを押すと、スケールのセットとなります。

※マップモードではメジャーモードと異なり、計測後に表示単位を切り替えることができません。また、後に出てくるナビモードでは、各計測メモリーのトータルを計算するため、表示単位が同一でないとエラーとなりますのでご注意ください。

(5)スケールは全部で７桁あり、Ⓓボタンを押すごとに点滅個所が移動します。点滅個所がセットできますので、セットしたい個所を点滅させます。

例）25万分の1の場合は分母の"250000"をセットします。

(6)点滅個所はⒷボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓐボタンを押すごとに１つずつ戻りますので、Ⓑ・Ⓐボタンを押してセットしたい数字を表示させます。

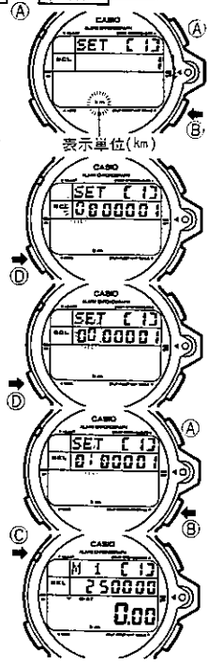
※Ⓑ・Ⓐボタンとも押し続けると早送りできます。

Ⓓボタンでセットしたい個所を表示させ、Ⓑ・Ⓐボタンでセットしたい数字を表示させる操作を繰り返します。

※Ⓓボタンを押しすぎて点滅個所が行き過ぎたときは、Ⓓボタンを押して再びセットしたい個所を点滅させます。

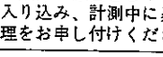
(7)スケールのセットが終わりましたら、Ⓒボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。

・スケールのセット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まります。



●計測セット

スケールの計測セットは、前記のような「25万分の１」というようなスケールがわからないときに、計測距離と実際の距離からスケールを計算してセットする方法です。

※地図上の  を実際に計測して、セットします。

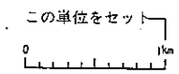
このセット方法は実際に地図上のスケールを計測しますので、メジャー機能の使い方を先にご覧になってからお使いください。

(1)ベゼルを回転させて、計測ローラーを計測位置にセットします。

※メジャー機能の使い方を参照してください。

(2)マップボードでⒷボタンを押して、セットしたいスケールメモリー番号([１]～[５]のいずれか)を表示させた後Ⓒボタンを続けて２回押すと計測セット状態になります。

(3)このとき前記のセット方法と同様に、Ⓑ・Ⓐボタンを押して表示単位をセットします。

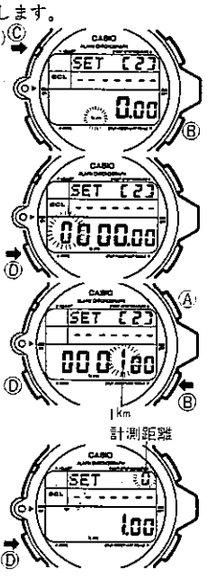


(4)表示単位セット後Ⓓボタンを押すと、実際の距離入力になります。

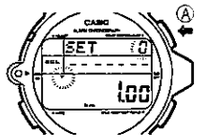
(5)実際の距離のセットも前記のスケールのセットと同様にⒹボタンを押してセットしたい個所を点滅させ、Ⓑ・Ⓐボタンを押して表示をセットします。

※この例では１（km）にセットします。

(6)実際の距離のセットが終わりましたら、Ⓓボタンを押して計測距離を点滅させます。



(7)Ⓐボタンを押して計測を開始します。
※計測の仕方および注意点についてはメジャー機能の使い方を参照してください。

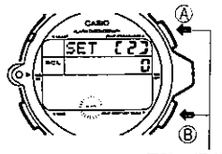


(8)計測が終わりましたらⒶボタンを押して計測を終了させ(三角マーク点滅停止)、Ⓒボタンを押すとスケールを表示してセット完了です。
※スケールは表示桁以下(小数点以下)切り捨てとなります。

スケール

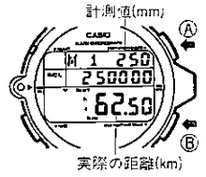


●スケールメモリーのリセット(クリアー)
スケールメモリーにセットしてあるスケールをリセット(0にする)ときは、Ⓑボタンを押してリセットしたいスケールメモリー番号を表示させ、Ⓒボタンを押してセット状態にした後、ⒶボタンとⒷボタンを同時に押すとリセットされます。リセット後はⒸボタンを押して表示単位の点滅を止めます。
※表示単位は変化しません。



■計測の仕方
計測前にⒷボタンを押して計測したいスケールメモリー番号を選び、Ⓐボタンを１回押すと計測が開始します。
※計測方向を示す三角マークが点滅します。
回転ベゼルを指で押さえながら、計測したい地図の上をなぞります。
計測終了後は再びⒶボタンを押して計測をストップさせます。
上部表示には計測値が、下部表示にはスケールに合わせた実際の距離が表示されます。
・スケールメモリーは、上部表示にスケールメモリー番号が表示されているときのみ選ぶことができます。

計測値(mm)



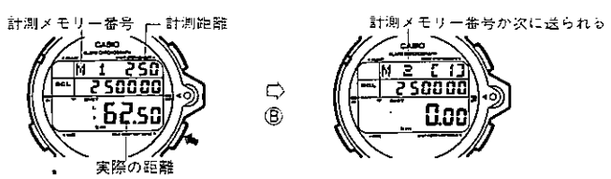
実際の距離(km)

★実際の距離はセット単位に換算され、表示桁以下切り捨てて表示されます。
★計測終了後は回転ベゼルを回して、計測ローラーを収納してください。

●計測のリセット(クリアー)
新たな計測を開始するとき等で計測値をリセット(0にする)ときは、計測状態にかかわらずⒸボタンを押すと計測値が0になります。



●計測メモリーの使い方
計測メモリーはマップモードで計測した実際の距離を10個までメモリーします。この計測メモリーに記憶してある距離は、後で紹介するナビモードで使うことができます。
メモリーのしかたは、マップモードで計測ストップさせた後、Ⓑボタンを押すと"ピコッ"と音がするまで押すとメモリーされます。

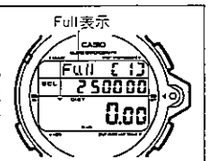


・マイナス値を計測メモリーに記憶させたときも、プラス値として記憶されます。

計測メモリーのクリアーは

既に計測メモリーに10個記憶されているときは、計測メモリー番号表示部に"Full"と表示され、これ以上記憶できません。記憶させたいときは、一度ナビモードに切り替え、「ナビ機能の使い方」の計測メモリーのクリアー(ナビタイマーのクリアー)にしたがって、不要なメモリーをクリアーしてください。
※マップモードでは計測メモリーのクリアーはできません。

Full表示



★マップ機能ご使用上の注意
マップ機能は計測した距離をセットしたスケールに合わせて換算しますので、スケールが大きくなるほど、計測したときの誤差が大きく影響します。計測時は地図の上ですべらないように、ゆっくりと確実に行なってください。

ナビ機能の使い方…操作のしくみにしたがいⒹボタンを押してナビモードにします。

ナビ機能はマップ機能により計測し、メモリーした実際の距離をもとに、時速または所要時間を入力するだけで所要時間または時速がわかり、ポイントごとに計測しておけば合計距離、合計所要時間、平均時速を自動的に計算しますので、ツーリングやドライブ等の計画が立てやすくなる便利な機能です。
また、所要時間をそのままナビタイマーとして使えますので、実際に走行してみて計画との差もわかります。
※時速を入力すると所要時間がわかり、所要時間を入力すると時速がわかります。

❶ナビ機能の概要

・マップ機能により地図を計測
・距離をメモリー
〈マップモード〉
⇩
・時速を入力　→所要時間計算
・所要時間を入力→時速計算
〈ナビモード〉
ポイントごとに行なう
(10個までメモリー)

⇨

行動計画をたてる
合計距離・合計所要時間・平均時速がわかる
⇩
ナビタイマーで実際に時間計測
〈ナビモード〉
行動計画との差がわかる
・ポイントごとにチェックすれば調整ができる
・次回の行動計画の参考になる

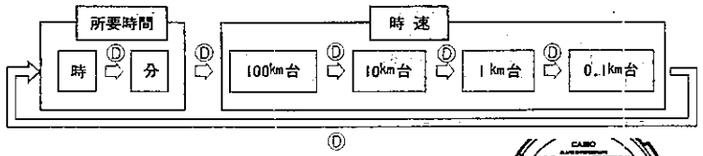
❷時速／所要時間の計算
マップモードで計測、メモリーした距離に、時速または所要時間を入力するだけで、簡単に計算できます。
入力は時速または所要時間のどちらかで、あとから入力した方を優先して計算しますので、同じ距離を２つの方向から検討して、計画することができます。
①所要時間を入力して、時速を計算する。
(1)ナビモードでⒷボタンを押して、計算したい計測メモリー番号を表示させます。
※ナビモードに切り替えた直後は、前回見たメモリーが表示されます。ただし、マップモードでメモリーした直後はそのメモリーが表示されます。

時速

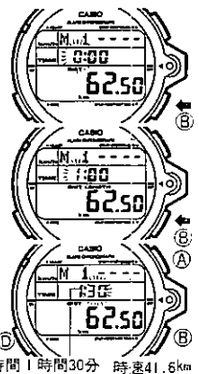


所要時間

(2)Ⓒボタンを押すと所要時間が点滅し、以後Ⓓボタンを押すごとに点滅個所が移動します。
点滅個所がセット可能ですので、Ⓓボタンでセットしたい個所を点滅させます。



(3)点滅個所が所要時間または時速のときにⒷボタンまたはⒶボタンを押すと、所要時間または時速のセットになります。



所要時間１時間30分　時速41.6km

(4)点滅個所がⒷボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓐボタンを押すごとに１つずつ戻ります。
※Ⓑ・Ⓐボタンとも押し続けると早送りができます。
※所要時間の「時」は99(時間)までセットできます。

(5)Ⓓボタンで点滅個所を移動させ、Ⓑ・Ⓐボタンで時・分をセットします。
※所要時間は99時間59分までセットできます。

(6)時・分のセットが終わりましたらⒸボタンを押すと時速を計算して表示します。

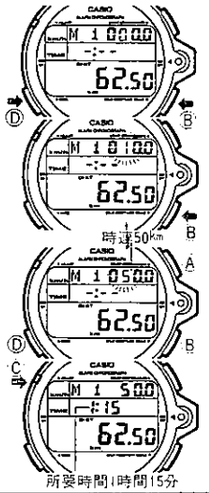
②時速を入力して、所要時間を計算する。
(1)ナビモードでⒷボタンを押して、計算したい計測メモリー番号を表示させます。
※ナビモードに切り替えた直後は、前回見たメモリーが表示されます。ただし、マップモードでメモリーした直後はそのメモリーが表示されます。

時速



所要時間

(2)Ⓒボタンを押すと所要時間が点滅し、以後Ⓓボタンを押すごとに点滅個所が移動します。
点滅個所がセット可能ですので、Ⓓボタンでセットしたい時速を点滅させ、ⒷボタンまたはⒶボタンを押します。



(3)点滅個所がⒷボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓐボタンを押すごとに１つずつ戻ります。
※Ⓑ・Ⓐボタンとも押し続けると早送りができます。
※時速は999.9kmまでセットできます。

(4)Ⓓボタンで点滅個所を移動させ、Ⓑ・Ⓐボタンで時速をセットします。

(5)時速のセットが終わりましたらⒸボタンを押すと所要時間を計算して表示します。

・時速／所要時間セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、２～３分後自動的に点滅が止まります。
・時速／所要時間のセットにより計算された値が、時速999.9km/ｈまたは所要時間99時間59分をこえた場合は、エラー("Ｅ"表示)となります。

時速／所要時間のセットにより計算された値は、表示桁以下切り捨てで表示されます。

❸トータル表示
前出の時速／所要時間を計算することにより、各ポイントごとの時速や所要時間がわかります。また、メモリーしてある番号の最後に各データのトータルデータが表示されます。
※平均時速および距離のトータル表示は、**各計測メモリーの単位が全て同一でなければなりません。**(kmなら全てkmにそろえる)。１つでも異なる場合は、エラー(Ｅ)表示となります。
※トータル表示は、合計所要時間が99時間59分、合計距離が99999.99kmをこえたとき、平均時速が999.9km/ｈ以上または0.1km/ｈ未満のときエラー表示となります。
※トータル表示は、各データを元に計算し、表示桁以下切り捨てで表示します。

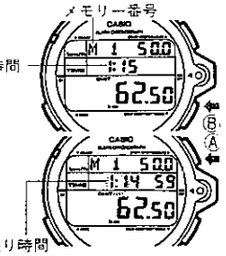
平均時速



合計所要時間　合計距離

❹ナビタイマーの使い方
各メモリーで計算(セット)された所要時間は、そのままナビタイマー（減算タイマー）として使用できます。
ナビタイマーは秒単位で計測し、タイムアップ(残り時間０)すると10秒間電子ブザーで知らせてくれます。また、タイムアップ後は自動的に積算計測となり("＋"表示)、所要時間よりオーバーした時間を計測し続けます。
※積算計測は99時間59分59秒まで(100時間計)計測します。

メモリー番号



所要時間

残り時間

〈ナビタイマーのスタート／ストップ〉
ナビタイマーをスタートさせるには、まずⒷボタンを押してスタートさせたいメモリー番号を選びます。
このときⒶボタンはスタート／ストップボタンとなり、１回押すと減算計測を開始し、残り時間を秒単位表示します。目的地到着等で計測を終了させるときは、Ⓐボタンを押します。

〈積算計測中表示〉

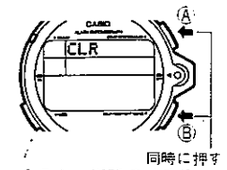


＋表示

●ロスタイムがある場合は
減算計測中ロスタイムがある場合は、Ⓐボタンを押すと計測をストップさせることができます。
再び計測を続けるときは、もう一度Ⓐボタンを押すと表示時間から引き続き計測を続けます。

❺ナビタイマーのリセット(計測し直し)
ナビタイマー計測中、もう一度最初から計測し直したいときは、計測停止中（計測中はⒶボタンを押す）にⒸボタンを押しセット状態(点滅表示)にし、続けてⒸボタンを押すと最初の所要時間を表示します。

●計測メモリーのクリアー（ナビタイマーのクリアー）
不要な計測メモリー(ナビタイマー)のデータをクリアー（消去）するときは、Ⓑボタンを押してクリアーしたいメモリー番号を表示させ、Ⓒボタンを押します。このとき(点滅表示中)ⒶボタンとⒷボタンを同時に押すと"ＣＬＲ"と表示して、１～２秒後メモリーをクリアーしてメモリー番号１の表示になります。
※計測メモリーのクリアーは１つずつ行ない、１つをクリアーすると、以降のメモリーが前につまって整理されます。

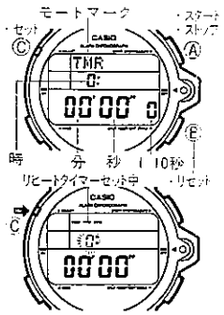


同時に押す

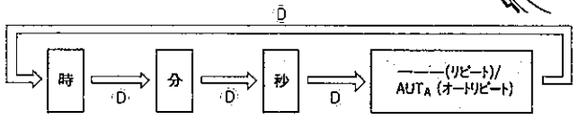
★ナビタイマーご使用上の注意
・ナビタイマーはメモリーされている内(10個まで)で1つのみ計測できます。したがって、1つのメモリーを計測中は、他のメモリーは計測できません。
・トータル表示中の合計所要時間はナビタイマーとして使用できません。

タイマーの使い方…操作のしくみにしたがってⒹボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは秒単位で最大99時間59分59秒(100時間計)までセットでき、セット時間が経過すると10秒間電子ブザーで知らせてくれます。
また、セット時間経過後も自動的に繰り返すオートリピートタイマーとして使うこともできます。



③持ち時間のセットおよびリピート オートリピートの切り替え
(1)タイマーモードのときにⒸボタンを押すと「時」が点滅します。
(2)Ⓓボタンを押すごとに点滅個所が以下の順に移動します。



(3)点滅個所がⒷボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓐボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
※Ⓑ・Ⓐボタンとも押し続けると早送りができます。
※リピートタイマー／オートリピートタイマーの切り替えはⒷボタンのみで行ないます。



Ⓓボタンでセットしたい個所を選び、Ⓑ・Ⓐボタンで表示をセットするという操作を繰り返し行ない、時・分・秒を合わせてください。
※持ち時間をセットするときは表示を「0：00' 00"」にします。
※セット中、リピートタイマーのときは表示窓上部に「——」が、オートリピートタイマーのときは「AUTA」が点滅します。

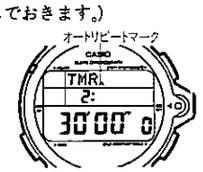
(4)セットが終わったら、Ⓒボタンを押すと、点滅が止まりセット完了です。
Ⓐボタンを押すと減算計測を開始し、残り時間を1/10秒単位で表示します。
※操作確認音が鳴ります。



④ロスタイムがある場合
減算計測中、Ⓐボタンはスタート／ストップボタンとなり、減算計測をストップさせることができます。

⑤繰り返し(リピート)計測…何度も同じ時間を計測する場合
(前記セット方法により、リピートタイマーを選んでおきます。)
タイムアップ後(残り時間0)電子ブザーが鳴り終わると、計測前にセットした時間を表示しますので、Ⓐボタンを押すとすぐに計測をスタートします。同じ時間を何回も計測するときに便利です。
計測の途中で最初からやり直すときは、Ⓐボタンを押して計測ストップ後、Ⓑボタンを押すと計測前にセットした時間を表示します。

⑥自動繰り返し(オートリピート)計測…続けて同じ時間を計測する場合
(前記セット方法により、オートリピートタイマーを選んでおきます。)
オートリピート計測ではタイムアップ後も続けて計測前にセットした時間を繰り返し計測します。
※オートリピートタイマーを10秒以内にセットして作動させているときは、電子ブザーは10秒間鳴らず、〝ピッ〟とだけ鳴ります。



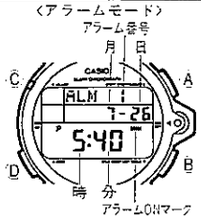
⑦鳴っている電子ブザーを止めるには
鳴っている電子ブザーを止めるにはⒶⒷⒹいずれかのボタンを押します。
※オートリピートタイマーで電子ブザー報音中のボタン操作は音止めとなりますので、Ⓐボタンを押してもタイマーは止まりません。タイマーを止めたいときはもう一度Ⓐボタンを押してください。

●タイマーセット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まります。

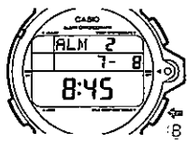
アラーム・時報の使い方…操作のしくみにしたがってⒹボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位で月・日・時・分がセットでき、セットした時刻になると20秒間電子ブザーで知らせるアラームが5つあります。月・日・時・分を指定するとその月日のセット時刻に、時・分のみを指定すると毎日セット時刻に鳴ります。
なお、5つのアラームはいずれも同じ使い方ができ、同時に5つの時刻をセットすることができます。
また、毎正時(00分のとき)を〝ピッピッ〟と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。

〈アラームモード〉



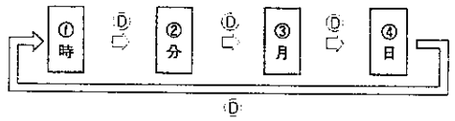
③セットのしかた
(1)アラームモードでⒷボタンを押して合わせたいアラーム番号(1～5)を表示させます。



(2)Ⓒボタンを押すと「時」が点滅します。
※アラームONマーク(▮▮▮)が点灯します。

(3)Ⓓボタンを押すごとに点滅個所が下図の順で移動します。
※点滅個所がセット可能ですので、Ⓓボタンでセットしたい個所を選びます。





(4)点滅個所がⒷボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓐボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
※Ⓑ・Ⓐボタンを押し続けると早送りができます。
※月・日を指定しないときは〝————〟にします。
(「月・日のセット」参照)
注)「時」のセットのとき午前(不点灯)／午後(P)にご注意ください。
注) 基本時刻を24時間制表示にしているときはアラーム時刻のセットも自動的に24時間制表示となります。



(5)セットが終わりましたら、Ⓒボタンを押してセット完了です。

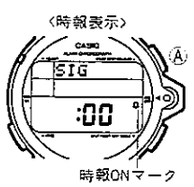


●アラーム時刻セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まります。

⑤月・日のセット
月・日のセット内容により、次のようにアラームの鳴る日がかわります。
月・日・時・分セット⟶指定月・日の指定時刻に鳴る。
月・時・分のみセット⟶指定月の1ヵ月間、毎日指定時刻に鳴る。
日・時・分のみセット⟶月1回、指定日の指定時刻に鳴る。
時・分のみセット⟶毎日指定時刻に鳴る。

⑥アラーム・時報を鳴らすには
各アラーム表示(1～5)、時報表示のとき、Ⓐボタンを押すごとに各アラーム表示(1～5)のときはアラームONマーク(▮▮▮)が、時報表示のときは時報ONマーク(🔔)が点灯・不点灯をくり返します。各マークとも点灯しているときがONで、電子ブザーが鳴ります。
アラーム・時報を鳴らさないときは、各アラーム・時報表示のときにⒶボタンを押してアラームONマーク(▮▮▮)時報ONマーク(🔔)が点灯していない状態にします。

〈時報表示〉

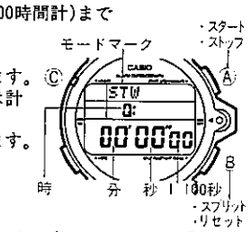


⑦鳴っている電子ブザーを止めるには
鳴っている電子ブザーを止めるにはⒶⒷⒹのいずれかのボタンを押します。

⑧モニターアラーム
アラームモードでⒷボタンを1～2秒以上押し続けると電子ブザーが鳴ります。

ストップウオッチの使い方…操作のしくみにしたがってⒹボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で99時間59分59秒99(100時間計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。



★計測のしかた
Ⓐボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
計測中Ⓑボタンを押すと表示は止まりますが内部では計測を続けるスプリット計測となります。
Ⓐ・Ⓑボタンともそれぞれ押すと操作確認音が鳴ります。

⑨通常の計測
Ⓐ スタート ⟶ Ⓐ ストップ ⟶ Ⓑ リセット

※積算計測…ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート(Ⓐボタンを押す)すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

⑩スプリットタイム(途中経過時間)の計測
Ⓐ スタート ⟶ Ⓑ スプリット計測 ⟶ Ⓑ スプリット解除 ⟶ Ⓐ ストップ ⟶ Ⓑ リセット

⑪1着・2着のタイム計測
Ⓐ スタート ⟶ Ⓑ 1着がゴール(1着タイム表示) ⟶ Ⓐ 2着がゴール ⟶ Ⓑ 2着タイム表示 ⟶ Ⓑ リセット

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
表示方式：FE型液晶デジタル表示
基本機能：時刻表示＝時・分・秒・午前／午後(P)／24時間制表示(24)
カレンダー表示＝年・月・日・曜日 フルオートカレンダー(1985～2029年)
メジャー機能：計測単位＝mm,cm, m, inch, feet & inch
計測範囲＝－9999～9999㎜
実寸計測機能、単位切替え機能
マップ機能：計測単位＝mm, cm, m, km, inch, feet & inch, mile, nm(海里)
計測範囲＝－9999～9999㎜ 換算範囲＝0～99999.99km
スケールメモリー5本、計測距離メモリー10本 スケール計測機能
計測スピード：10cm／秒以内
センサー精度：実長－1㎜程度(沿り、測定誤差等は除く)
※実長は実測値ですので、マップモードの縮尺により実際の距離に換算した場合は、その縮尺に応じて誤差が大きくなることがあります。
ナビ機能：ナビタイマー 計測単位＝秒 計測範囲＝99時間59分59秒
時速／所要時間計算機能、合計距離・合計所要時間・平均時速計算機能
アラーム機能：時刻アラーム5本 セット単位＝分 電子ブザー＝20秒間
時報 毎正時に2回電子ブザーで報時
タイマー機能：計測単位＝1/10秒 セット単位＝1秒 電子ブザー＝10秒間
計測範囲＝100時間
計測機能＝通常計測・ロスタイム計測・リピート／オートリピート計測
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒 計測範囲＝99時間59分59秒99(100時間計)
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
セット機能：時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能(±30秒アジャスト)、アラームセット機能、タイマーセット機能、タイマーオートリピートセット機能、計測方向セット機能、逆方向計測機能
その他：自動復帰機能、モニターアラーム、12／24時間制表示切替え
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子 ワンチップC/MOS-LSI
使用電池：SR—927W×2個(電池別途販売)
※電池はカシオ製電池またはカシオ指定電池をお使いください。
電池寿命：約2年
(1日当り電子ブザーを20秒間、1週間当たりマップ計測を5分間使用した場合)